

KMB 社に於けるホース押出公開デモンストレーション参加レポート

参加日 2016年9月14日
場所 KMB 社実験棟
担当者 KMB 社 Mr.Weiterer(Profile/Hose 押出ライン Sales Manager)
Sikora 社 Mr.Lieder(Sales Director)

テストライン

KMB 社 90Φ ゴム押出機 GE90/調芯ヘッド Type 35 装着 — Sikora 社測定器 Type X-Ray
6070Pro — キャタピラ式引取機 — 製品投入ケージ

テストラン

ラインの操作盤で各種設定を行う。押出速度は 4.2m/min、ホースの断面情報は Sikora のコントロールパネルに
インプット (oD=25.50mm, t=2.3mm, 偏芯値<0.02mm)、ゴムは KMB 社のテスト用配合を使用する。
スタートから 1メートル位押し出した時点で、Sikora 測定器のモニターに偏芯値が 0.02mm 以下を表示。押出
機を操作して偏芯を大きくしても、すぐに調芯され所定の偏芯値を示す。

ヘッドの構造と調芯原理

ヘッドの構造については、ヘッドには 90° 間隔で 4か所に油圧シリンダーが設置されており、Sikora から発信さ
れた偏芯情報に基づき軸調整が行われサーボモーターを通して上記 4か所のシリンダーが作動して、ダイが上下
左右にポジションを変え、所定の偏芯値になる。

その他の情報

1. 当ヘッドはホースの精密押出用調芯ヘッドである(Self-Centering Hose Head)。
2. タイプはホースの最大 oD で 35, 70, 110 の 3種がある。
3. 販売実績はまだないが、今回から上記 3種を正式に売り出す。
4. 異種材質の 2層ホースは可能で、既にクロスヘッドも製作した。
5. 中間ブレードホースも可能。補強法はワインディング、ニッティング、ブレードイングなど OK。但し、ニ
ッティングはオフラインを推奨。
6. 電線にも応用できるが、one layer のみ可能とのこと。

その他、今回のデモは 9月 14-16 日の 3日間でしたが、15日、16日は Veritas などのホースメーカーが自社の
配合を持ち込んで独自のテストを行うとのことで、一般公開は 14日と

15日の午前中のみでした。尚、Veritas 社 (ドイツ大手自動車用ホースメーカー) は数台のヘッドと Sikora 測
定器を発注予定とのことでした。

以上